



2018.11.1

No. 199
9月
定例会

企画

エントランス 議会への entrance ～第5回 常任委員会ってなんだろう?～

決算審査特別委員会にて
平成29年度剰余金の
処分の可決及び決算の認定!



写真 上段右：こうふ開府500年記念事業カウントダウンイベント100日前「市民みんなのパレード」出発式
(大塚議長 左から4人目)

下段：「こうふ開府500年記念ポロシャツ」を着用して本会議に臨んでいる様子(平成30年9月撮影)

CONTENTS

- 《企画》議会へのエントランス … ②～③ページ
- 9月定例会の概要／議会日誌／
12月定例会の予定 … ④ページ
- 市政に関する質問／請願・陳情審査結果
… ⑤～⑪ページ

- 平成29年度決算審査特別委員会審査の概要
… ⑫～⑬ページ
- 常任委員会審査の概要 … ⑭ページ
- 審議結果／人事案件等 … ⑮ページ
- 意見書／甲府市議会のご案内 … ⑯ページ

9月定例会における常任委員会は
この日程で行われました。

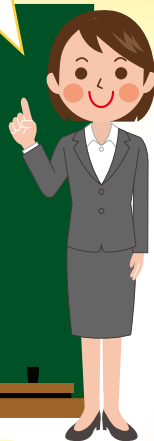
9月定例会日程(抜粋)

7日(金) 本会議、
常任委員会付託

10日(月) 常任委員会
(総務委員会、
民生文教委員会)

11日(火) 常任委員会
(経済建設委員会、
環境水道委員会)

13日(木) 本会議、
各常任委員長報告、
採決



市議会では、甲府市の様々な議案
などを専門的・効率的に審査する
ため常任委員会を設置しています。
今回は、常任委員会について先生と
生徒の会話を通してご紹介します。
※entranceとは、入口という意味です。



常任委員会では
どんなことをしているの？

甲府市議会では、分野別に4つの
委員会に分かれて、議案などの審査や
調査を専門的に行っています。



議案の審査はどのように
進むのかな？

議案の審査は
次のように進められます。



①本会議に提出された議案を、議長さんが
担当の常任委員会に振り分けます。
(このことを付託と言います。)

②各常任委員会において
付託された議案を詳しく審査します。



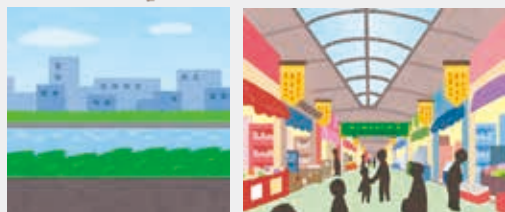
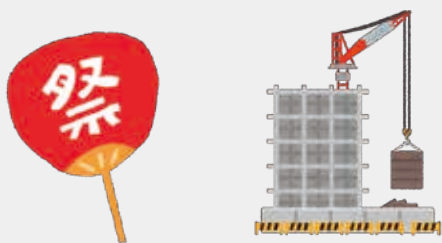
総務委員会

《主な担当》
市の計画、財政、税金、
防災、消防など



経済建設委員会

《主な担当》
まちづくり、道路、河川、
公園、観光、商業、農業など



議会へのエントランス

～第5回 常任委員会ってなんだろう？～



委員会の調査ってどんなことをしているの？



議員さんが独自に勉強することはもちろん、委員会で市の担当者に質問したり、閉会中に他の自治体の先進的な取組を視察するなど、議案審査の参考にするため、調査活動を行っています。



民生文教委員会による視察の様子
(水戸市「わんぱく・みと」)



総務委員会の
議案の審査の様子



環境水道委員会による視察の様子
(島田市「メタンガス発電施設」)



経済建設委員会の
議案の審査の様子

③4つの常任委員会の委員長が本会議で審査結果を報告し、質疑、討論・採決を経て議案の賛否が決定します。



民生文教委員会

《主な担当》

福祉、医療、子育て、教育、文化、スポーツなど



環境水道委員会

《主な担当》

温暖化対策、ごみ、上水道、下水道など



9月定例会の概要

甲府市議会は、9月定例会を8月31日から9月27日までの28日間の日程で行いました。

平成30年度甲府市一般会計補正予算（第3号）、甲府市武田氏館跡歴史館条例制定について、平成29年度甲府市各会計別決算の認定についてなど、各常任委員会の審査（概要は14ページ）及び決算審査特別委員会の審査（概要は12・13ページ）を経て、市長から提案された19案件を審議し、すべて原案のとおり、承認・可決・認定・同意・可決及び認定いたしました。

主な条例は、甲府市武田氏館跡歴史館条例制定についてで、国史跡武田氏館跡に関する資料の収集、保存、展示等により、その有する歴史的・文化的価値に対する市民の理解を深め、市の教育、学術及び文化の振興に寄与するため、甲府市武田氏館跡歴史館の設置について定めたものです。

主な補正予算は、平成30年度甲府市一般会計補正予算（第3号）で、女性活躍支援特設サイトの構築に係る経費等の補正となっています。

議会日誌

7月23日(月)	議会制度調査研究会	9月10日(月)	常任委員会(総務・民生文教)
7月25日(水)	会派代表者会議	9月11日(火)	常任委員会(経済建設・環境水道)
7月26日(木)	中核市調査研究会	9月13日(木)	議会運営委員会、本会議(各常任委員長報告、採決)
8月10日(金)	山梨県市議会議長会議員合同研修会(前期)	9月14日(金)	決算審査特別委員会
8月20日(月)	経済建設委員会(所管事項調査)	9月18日(火)	
8月21日(火)	議会運営委員会	9月19日(水)	
8月24日(金)	9月定例会招集告示	9月20日(木)	
8月28日(火)	議会運営委員会、会派代表者会議	9月21日(金)	
8月31日(金)	9月定例会開会、提案理由の説明、広報委員会	9月25日(火)	
9月5日(水)	本会議(質疑及び市政一般質問)	9月27日(木)	本会議(決算審査特別委員長報告、討論、採決)、9月定例会閉会
9月6日(木)		10月2日(火)	経済建設委員会行政視察
9月7日(金)	議会運営委員会、本会議(各常任委員会付託、決算審査特別委員会設置、提案理由の説明)、決算審査特別委員会	10月4日(木)	
		10月9日(火)	広報委員会

本会議や委員会はどこまでも傍聴できます。
なお、本会議の内、開会日及び市政一般質問を行う3日間（NNS(10ch)でテレビ中継するほか、インターネットによる中継も行います。）



傍聴席が72座席あります
(車椅子スペースを含む)

18日(火)	17日(月)	16日(日)	15日(土)	14日(金)	13日(木)	12日(水)	11日(火)	10日(月)	9日(日)	8日(土)	7日(金)	6日(木)	5日(水)	12月定例会の予定
本会議、閉会	休会	休会	休会	常任委員会	休会	本会議	休会	休会	休会	休会	休会	開会、本会議		



創政こうふ
代表質問 (分割)

金丸 三郎

信虎公の再評価と認知向上について

質問 Q

開府500年事業として、武田氏の基礎を築いた信虎公の再評価と認知向上を進めるべきと考えますが、見解を伺います。

答弁 A

信虎公の功績にスポットを当てることは重要だと認識しており、リレーフォーラム2017では「武田信虎公とこうふ開府500年」の演題で基調講演を、また、開府500年甲府の歴史を学ぶ事業として連続講座の開催や歴史パネル展示事業等を実施し、認知向上に努めています。

また、年内に発行を予定しているこうふ開府500年の歴史小冊子等を活用し、子どもたちに信虎公に関する知識を深めてもらうとともに、講演会等を通じて市民の皆様にも信虎公の功績を広く知っていただきたいと思います。

今後、甲府誕生の功労者である信虎公の再評価・認知向上に繋がる事業を進めてまいります。

国際交流都市への取組について

質問 Q

市内4大学に在籍している外国人留学生の支援策や活用策について考えを伺います。

答弁 A

外国人留学生との交流は、グローバルな人材育成に資する大変有意義なものであるとともに、外国人留学生の活躍の場ともなります。

このことから、本年6月には、外国人留学生との「よっちゃばれ放談会」を、また、9月10日には、新たに外国人留学生も対象に加えた「甲府市就職応援合同企業説明会」を開催し、11月には、本市の歴史にふれあいながら、外国人留学生と高校生が交流を深め、グローバルな人材育成に繋がる歴史探訪事業も準備を進めています。

今後、外国人留学生が活躍できる環境づくりについて、受入れの担い手である大学と連携・協力を図りながら取り組んでまいります。



その他の質問事項

- ・総務省「自治体戦略2040」について 他



公明党
代表質問 (分割)

兵道 顕司

アプリを活用した市税等の納付方法の導入について

質問 Q

スマートフォン時代に即応した効果的な取組として是非とも導入すべきと考えますが、見解を伺います。

答弁 A

多様化するライフスタイルに伴い、納付方法の拡大を図ることは必要です。

スマートフォンを活用したアプリによる納付は、事前に無料のアプリをダウンロードする等により、どこからでも市税等の納付が可能であり、納税者の利便性の向上に繋がることから、本年10月1日の導入に向けて準備を進めており、今後、市広報やホームページ等により周知を図ってまいります。

なお、クレジットカードによる納付についても平成31年4月の導入に向け、今議会に補正予算案を提出しております。

今後、市税等の確保に向けて市民の利便性が向上する納税環境の整備に努めてまいります。

洪水を想定した避難行動のあり方について

質問 Q

小中学校避難所において校舎上層階への垂直避難を可能としたことの周知と、地域の皆様の迅速な避難行動について見解を伺います。

答弁 A

校舎上層階への垂直避難の周知については、地区防災研修会の意見交換等において、説明しているところですが、各地区自治会連合会との連携強化や防災アプリ等により周知を行うなど、速やかに対応してまいります。

また、地域の皆様に迅速な避難行動を行っていただくため、様々な情報媒体を活用し、避難情報等の伝達を行っており、避難情報が発令された際には、速やかな避難行動を行うよう、わが家の防災マニュアルや地区防災研修会等により周知、啓発を図っています。

更に、避難を呼びかける人材も必要と考えており、防災リーダーの強化とあわせて人材の育成に努めてまいります。



その他の質問事項

- ・奨学金返還の一部助成制度について 他



日本共産党
代表質問（分割）

内藤 司朗

避難所生活の改善について

質問 避難所の段ボール組立て式簡易ベッドの配備と体育館へのクーラーの設置について見解を求めます。

并A 答 本市では、指定避難所60箇所に避難所用マットや毛布、要配慮者用として、車イスで使用可能なテント付きトイレや福祉避難室として活用できる間仕切り、子育て用資機材として、授乳室等を配備するとともに、平成28年度に避難生活環境の改善、避難者の疲労軽減に寄与することを目的に「災害時の昼の提供に関する協定」を締結するなど、避難所環境の向上に努めています。

段ボール組立て式簡易ベッドは、エコノミークラス症候群等の予防や災害関連死対策に大変有効との報告もあることから、災害協定の締結等も視野に入れ、配備について調査・研究してまいります。

なお、体育館へのクーラーの設置については、大規模な施設改修

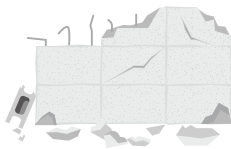
が必要になることから引き続き、検討課題とさせていただきます。

民間ブロック塀の撤去等に関する新たな助成制度の創設について

質問 民有地の危険なブロック塀の撤去・改善をスムーズに行うため、現行の生垣設置奨励助成制度の改正もしくは新たな助成制度が必要と考えますが見解を求めます。

并A 答 民間ブロック塀の撤去や改修に関する新たな助成については、国の防災・安全交付金を活用することが可能ですが、その活用に向けては県内市町村で構築している社会資本整備計画の変更手続きに時間を要することから現在、山梨県と協議を行っているところです。

今後は、国の新たな補助制度の創設や予算措置の動向を注視する中で、本市の助成制度について調査・研究してまいります。



その他の質問事項

・通学路上のブロック塀の点検について 他



政友クラブ
代表質問（分割）

坂本 信康

（仮称）甲府市産業振興ビジョンについて

質問 今後の産業政策についてどのような考え方を基本として策定するのか見解を伺います。

并A 答 （仮称）甲府市産業振興ビジョンは、現在策定中の甲府市農業振興計画や甲府市商工業振興指針等の各産業分野における計画等の実効性が担保できるよう、「稼ぐ力」の向上を目標として、本市産業の強みを活かし、新たな魅力を生み出す中で、異なる産業間・企業間連携を促進し、その相乗効果を導き出しながら、特色ある地域産業の強化とブランド化や新たな産業・企業の創出等、本市産業の今後の方向性を示すものです。

策定に向けては、商工、企業立地、観光、農業等の関係機関の代表者や学識経験者等で構成する策定委員会において、様々な観点からの意見等をいただきながら、来年3月末を目途に策定してまいります。

地域防災力の強化に向けた今後の取組について

質問 地域の人材育成やリーダー同士の連携強化の観点を含め、今後の取組について見解を伺います。

并A 答 本市では、地域防災力の更なる向上を目指し、策定した「地域防災計画」をより実効性の高いものとしていくため、検証や見直しの作業を引き続き支援してまいります。

また、地域の防災活動において中心的な役割を担う防災リーダーの更なる知識の向上や情報交換等を通じて自主防災組織の育成・強化に努めてまいります。

更に、防災意識を醸成し、社会全体に継承することが必要であることから、小中学校に職員を派遣して、防災に関するゲーム等を活用し家庭や地域の中でも安全な行動がとれるよう取り組むなど、防災教育の充実に努めてまいります。



その他の質問事項

・消防団員の大規模水害対応への装備の充実について 他



創政こうふ
一般質問 (分割)

天野 一

濁川の河川改修について

質問Q 今後も予想される集中豪雨に対し、濁川の治水安全度や河川改修の必要性について見解を伺います。

回答A 改修については、濁川と並行する都市計画道路の整備計画が具体化したことに伴い、山梨県において道路と一体となった河川改修が進められており、上流区間については、河道改修とバイパス水路の整備を行い、改修済みの下流区間と同様の治水安全度が確保されることになっていきます。

あわせて、濁川のように既存市街地を流れる河川では、近年、急激に水位が上昇する事態が見受けられることから、雨水を貯留して浸透させるための流域貯留浸透施設の設置を山梨県が継続して進め、本市も協力しているところです。

今後、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、山梨県と連携を図り、濁川の治水安全度の向上に努めてまいります。

ブロック塀の安全点検と対応について

質問Q 小中学校や通学路を対象に行った緊急調査の結果と、危険と判断された箇所への対応について伺います。

回答A 市立の小・中・高等学校のプール目隠し用ブロック塀の点検を実施し、その後、学校施設内の全てのブロック塀も一斉点検を実施した結果、劣化、損傷により構造上、危険と判断したブロック塀が全37校中3校、3箇所確認され、既にブロック塀を撤去し安全を確保しました。

また、通学路は目視等による点検を行い、危険と思われる箇所については、児童・生徒自身の判断で身を守り迅速に避難できるように指導するとともに、学校と協議し通学路の変更を行いました。

今後は、建築基準法に適合していない本市所有のブロック塀について、計画的に改修を実施してまいります。



その他の質問事項

・ブロック塀の撤去・改修の助成制度について 他



創政こうふ
一般質問 (分割)

小沢 宏至

救助用ボートの消防団への配備について

質問Q 洪水により取り残された市民の救助が可能となるよう消防団に救助用ボートの配備が必要と考えますが、見解を伺います。

回答A 昨今、全国各地で広範囲に被害を及ぼす水害や土砂災害が発生し、西日本豪雨では消防団が救助用ボートを使用して建物に取り残された住民を救助するなど、被災地において配備の重要性が認められています。

また、平成26年の消防団の装備の基準の改正により、地域の実情に応じて配備する装備に救助用などのボートが加えられました。

近年、本市では、河川の氾濫等による水害で救助用ボートを使用するような状況がなく、これまで配備は行っていませんでしたが、全国において想定外の水害が発生していることから、他都市の状況等について調査・研究してまいります。

火の見櫓の老朽化への対応について

質問Q 本市において、計画的に撤去または耐震工事等の対応が必要と考えますが、見解を伺います。

回答A 火の見櫓は、かつて火災の早期発見、消防団の招集、町内への警鐘の発信等に使用されていた見張台でしたが、119番による通報体制の整備や各種情報機器の普及により、利用形態が変化している状況にあります。

現在、本市が管理する火の見櫓は7基あり、その高さを利用して火災現場等で使用したホースの乾燥や、防災情報等をお知らせする自治会や防災行政用無線のスピーカーの設置場所等として利用されていることから、今後も適切な維持管理に努めてまいります。

また、自治会等が管理する火の見櫓については、適切な維持管理が行われるよう周知してまいります。



その他の質問事項

・災害発生時の防災アプリの活用方法について 他



公明党
一般質問 (分割)

植田 年美

ひきこもりの方への支援体制の構築について

質問 Q ひきこもりの方への支援について、今後の計画と取組をどのように進めていかれるのか、ご所見をお示しください。

回答 A ひきこもりの方への支援については、相談体制の強化とともに、当事者を社会から孤立させないよう共に寄り添って支援する伴走型の支援が重要であることから、保健師や精神保健福祉士による家庭訪問及び専門の支援員による家計改善や就労準備に向けた支援等、伴走型の支援体制の構築を盛り込んだ（仮称）甲府市ひきこもり支援の基本方針を本年度中に策定します。

また、来年4月に開設する（仮称）甲府市総合健康支援センターに、早期の支援に結びつけるための相談窓口を設置し、関係機関等と連携・協力する中で、ひきこもり等の方の早期の自立に向けた支援に取り組んでまいります。

フレイル予防の施策の展開について

質問 Q フレイル予防を実践する施策を展開し、高齢者の健康寿命を更に伸ばしていくべきと考えますが、見解を伺います。

回答 A 本市では、フレイル予防の概念と一致する個別の事業として、地域住民が担い手となつて介護予防や機能訓練を行う「ふれあいくらぶ」を甲府市愛育会連合会に委託して取り組んでおり、また、高齢者の社会参加の促進や閉じこもり予防に向けた「いきいきサロン」についても地域で自主的な運営を行っています。

今後は、フレイル予防の施策の展開を目指し、更に調査・研究を行うとともに、既存の個別事業をフレイル予防という観点で体系的に整理する等「健康都市こうふ基本構想」の柱である「人の健康づくり」と「地域の健康づくり」を促進するような取組を進めてまいりたいと考えています。

その他の質問事項

・小学生の荷物の重さと健康への影響について 他



日本共産党
一般質問 (分割)

清水 英知

学校給食費の無償化について

質問 Q 学校給食は教育の一環であり、無償化すべきと考えますが、見解を求めます。

回答 A 本市では、学校給食法の規定により給食の実施に必要な施設、設備や人件費等は本市が負担し、食材費のみ、保護者にご負担いただいております。平成29年度では、小中学校合計で約7億円余となっています。

また、文部科学省から公表された全国調査結果によると給食費を小中学校ともに無償化している自治体は、全国で4・4%にあたる76自治体であり、このうちの7割を占める56自治体は、人口1万人未満の町村で、これら小規模自治体の無償化の主な目的は、過疎化対策等として実施しています。

現在、支援が必要な準要保護世帯については、本市独自の就学援助制度により給食費の助成を行っており、今後も現行制度を維持してまいります。

国民健康保険料の負担軽減について

質問 Q 国民健康保険料の子どもの均等割を免除するとともに、生活困窮世帯の負担を軽減すべきと考えますが、見解を求めます。

回答 A 本市では、国民健康保険料の負担軽減として、災害や失業等により保険料の納付が困難になった方の減免を行っており、また、解雇等による非自発的失業者の方へは、前年の給与所得を100分の30として保険料を算定し、更に、低所得世帯へは、均等割額と平等割額を軽減しており、本年度からは、国の基準に基づき軽減措置判定の所得金額が拡充されています。

今後も、減免制度について周知を図り、生活困窮世帯に対しては、実情に応じた親切丁寧な対応を行ってまいります。

なお、子どもに係る均等割額の軽減については、山梨県市長会及び全国市長会等を通じ、国に要請してまいります。

その他の質問事項

・重度心身障害者医療費助成制度について 他





政友クラブ
一般質問（分割）

小澤 浩

サテライトオフィスの誘致について

質問 Q 本市は、地方で仕事ができるサテライトオフィス勤務の絶好な立地だと考えられますが、見解を伺います。

回答 A 本市は、東京圏に隣接した立地や東京圏で発生した災害の影響を受けにくいという利点のほか、将来的にはリニア中央新幹線の開業等により、アクセス時間が更に短縮されることから、事業継続計画の一環として、本社機能の一部移転やバックアップ機能を検討している企業にとって、その候補地になり得る好条件を備えているものと考えています。

このような本市の優位な立地条件に加え、更にインセンティブを高めるため、「甲府市地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例」の制定を今議会に提案しており、固定資産税に係る3年間の税制優遇措置を講じること、一層の企業誘致の促進を図つてまいります。

てまいります。

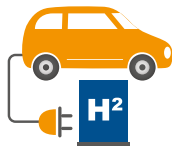
水素・燃料電池関連産業の振興について

質問 Q 水素・燃料電池関連産業をどのようにとらえているか、また、「やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会」との連携について見解を伺います。

回答 A 本市には、燃料電池の研究開発の拠点である山梨大学のほか、水素発生装置における超耐熱メッキを開発した企業が立地しているなど、その集積に適した地域であると考えています。

燃料電池とその関連部品の研究開発が、本市製造業の中核をなす機械電子産業に及ぼす技術的效果と経済効果は非常に大きく、本産業の集積は、本市の製造業の成長と持続的な発展を可能にする礎になるものと期待されています。

今後、「やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会」の動向を注視し、情報収集を行う中で、水素・燃料電池関連企業の誘致を推進してまいります。



その他の質問事項

・社会保障費の削減に向けて 他



政友クラブ
一般質問（分割）

末木 咲子

人工知能(AI)とIoTの活用について

質問 Q 行政の複雑作業やサービスのデジタル活用について、また、AI等を活用した業務の効率化や安心・安全なまちづくりについての考えを伺います。

回答 A 本市では、現在、住民情報や財務データ等を集約し、人工知能が活用できる情報基盤整備を図っており、今後、市民サービス等の行政事務や、安心・安全なまちづくりに人工知能を活用できると考えています。

更に、地域の見守りや健康管理等への活用が進み、市民サービスのあり方や方法も変革する必要があると考えています。

このことから、先進自治体等の調査・研究を行い、甲府市地域情報化計画へ反映させる中で、人工知能等の新しい技術を活用し、業務改善を進め、市民サービスやまちづくり等に適応できるよう進めてまいります。

飲食店等を活用した活性化策について

質問 Q 中心市街地に増加している飲食店等の周知への取組と、インバウンド対策としての甲府市おもてなしショップ登録制度の活用方法について伺います。

回答 A 本市では、中心市街地の多様な飲食店を特色ある地域資源と捉え、市民や学生等の様々な団体による自主的かつ意欲的な情報発信等に対し、各種助成制度による支援を行うとともに、効果的な情報発信に努めています。

また、甲府市おもてなしショップ登録制度において、8言語に対応した指差し会話シート等を配布しているところであり、登録されている飲食店の一部では外国語メニューの作成をする等、新たな動きも出ています。

今後は、広く本制度を周知し、更なる受入体制の充実・整備に努め、本市のインバウンド観光の推進に繋げてまいります。



その他の質問事項

・障がい者スポーツ「ポッチャ」の普及について 他



政友クラブ
一般質問（分割）

鮫田 光一

防災に関する情報発信について

質問Q 北部地域、上九一色地区のご高齢の住民に防災行政無線端末をお配りしてはいかがかと考えますが、見解を伺います。

并A 本市では、豪雨等により防災行政用無線による伝達が困難な場合に備え、情報伝達手段の多重化に取り組む中で、市民の皆様への周知に努めており、4月10日には新たに甲府市防災アプリの配信を開始し、情報伝達手段の充実を図ったところです。

また、地域の円滑な情報伝達を目的に、自治会連合会と連携し、迅速かつ正確な情報伝達のための緊急連絡体制の整備等、地域との連携強化にも取り組んでいます。

今後は、防災情報が広く届くようメールマガジンやアプリの周知による利用促進と機能改善による利便性向上に努め、伝達手段の更なる多重化に向け、調査・研究してまいります。

（仮称）甲府市農業振興計画について

質問Q 現在策定中の（仮称）甲府市農業振興計画は、本市農業を活性化するため、将来の農業を見据えた計画とすべきと考えますが、現時点での考えを伺います。

并A 本計画は、農業関係者や市民はもとより、都市部より参入する住民を含め、まちと地域が連携して持続する農業を目指す計画となっており、プロフェッショナルな農業者を育成する「稼ぐ農業者の育成と拡大」、産地を守るための施策を展開する「産地の保全と強化」、健全な農業の維持に繋げる「農地の保全と活用」の3つの基本方針で構成されています。こうした取組を通じて、今後の本市農業は、稼ぐ農業者を支援し、農業全体を引き上げるとともに、下支えしている中間層を守り、産地の強化に努め、農業と都市機能が調和した豊かなまちづくりを目指してまいります。



■その他の質問事項

・市立甲府病院改革について 他



社会民主党
一般質問（分割）

山田 厚

非正規職員の待遇と雇用の改善等について

質問Q これまでの改善への取組と、会計年度任用職員制度の本市の考え方について、また、県外の方の職務経験者採用試験について、本市非正規職員も対象とすることを検討すべきと考えますが、見解を伺います。

并A 本市はこれまで、各種休暇の整備・充実や通勤手当の基準の改善、また、嘱託職員の年次休暇の時間単位取得、時間外勤務の報酬の増額支給を可能とするなどの改善を行いました。

また、会計年度任用職員については、円滑な移行に向け、非正規職員への十分な周知期間等を設ける中で、適正な勤務条件の確保が行えるよう準備を進めてまいります。なお、民間企業等職務経験者を対象とした正規職員の採用試験については、今回の採用試験を十分検証する中で、受験資格、試験内容等の見直しを行ってまいります。

JR中央線・身延線の利便性の向上について

質問Q 首都圏の地方都市で最も身延線の改善をどう考え、利用ニーズをどのように把握されていますか。更に中央東線高速化促進広域期成同盟会等の役割を強化すべきと考えますが、見解を伺います。

并A 鉄道の利便性の向上は、首都圏等へのアクセス性の向上など、多様な効果が期待できるため、重要な課題と認識しており、これまで、中央東線高速化促進広域期成同盟会や身延線沿線活性化促進協議会を通じて、要望してきました。

また、中央本線の利用促進及び利便性向上に向けた研究会において、早朝特急の新設等のため、年数回、利用者数を実態調査し、分析等を行うとともに、利用ニーズの把握のため、駅構内等でのアンケート調査の実施に向け、JR東日本と協議等を行っています。



■その他の質問事項

・甲府市遠距離通勤通学定期券購入費補助事業について

子どものキャリア教育について



無 所 属
一般質問 (分割)

神山 玄太

質問 Q 子どもたちが将来、仕事の判断に影響を与えるのは義務教育の間に職業や働くということ、社会で生きることについての学びをどれだけ受け、考えることができたかということです。子どもたちの将来選択のためにキャリア教育の充実を図るべきだと考えますが、見解を求めます。

答弁 A 近年、経済の構造的変化や雇用の多様化・流動化が進む中で、若者の勤労観や職業観等の未熟さが指摘されており、子どもたちの社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の充実が求められております。

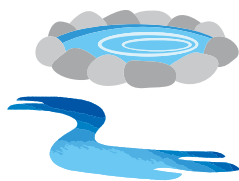
今後におきましても、子どもたちが主体的に未来を切り拓き、社会人として自立していくことができるようキャリア教育の充実に取り組んでまいります。

湯川の水害対策について

質問 Q 環境の変化により、これまでの降水量想定を上回る降雨が頻発し、洪水や内水氾濫によって甲府市内でも浸水や冠水の発生が多くなっており、対応が求められています。特に湯村温泉郷を流れる湯川は過去にも溢水し、浸水被害が発生していることから、より早い対応が求められています。見解を求めます。

答弁 A 湯川については、管理者である県が流下能力が低い山の手通りの新湯川橋下流から湯村本通りの湯川橋上流までの改修事業に着手しております。

湯川の改修が行われるまでの間、湯川橋上流の堰の操作や管理については、施設の管理者のほか、地元消防団や自治会、近隣居住者との連携強化を図りながら、増水が予測される緊急時には速やかに通水させるため迅速に対応してまいります。



その他の質問事項

・専科教員の採用と小学校における教科担任制について 他

平成30年9月定例会請願・陳情審査結果

	番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願	第29-6号	国民健康保険財政の都道府県化に係る意見書採択についての請願	民生文教	取り下げ (承認)
	第30-3号	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願	//	採 択
	第27-6号	沖縄県民の声に共感し地方自治の堅持を国会と政府に求める意見書提出を求める請願	総 務	継続審査
	第28-1号	安全保障関連法の廃止、または再検討を求める意見書の提出を求める請願	//	//
	第28-6号	「治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を求める意見書」の提出を求める請願	//	//
	第29-4号	共謀罪法(テロ等準備罪処罰法)廃止のための意見書提出を求める請願	//	//
	第29-5号	共謀罪(テロ等準備行為処罰)法の廃止を求める意見書提出の請願	//	//
	第29-7号	国民健康保険の都道府県単位化に向けての請願	民生文教	//
	第29-8号	国民健康保険の都道府県単位化にかかわる請願	//	//
陳情	第30-2号	政府に核兵器禁止条約に参加し批准する意見書の提出を求める請願	総 務	//
	第30-1号	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	総 務	継続審査

特別委員会審査の概要

平成29年度決算を審査

◆決算審査特別委員会

委員長 廣瀬集一
副委員長 長沢達也
委員 荻原隆宏
岡 政吉

池谷陸雄
深沢健吾
金丸三郎
望月大輔
佐野弘仁
神山玄太
清水英知



委員長報告（抜粋）

◆総括質問

◆平成29年度の財政運営について

歳入では、市税収入が個人・法人市民税の増などにより増収となったものの、歳出では、障がい者に係る自立支援費などの扶助費をはじめとする社会保障関係費が増加したことから大変厳しい財政運営であったが、市長就任以来、重点施策として進めてきた「子ども最優先のまちづくり」では、子育て世代包括支援センター（用語解説①参照）

の開設や子育て支援アプリの導入など、「暮らし潤うまちづくり」では、経営者や後継者、若手従業員育成への支援やオール甲府市産にこだわったスーパーリングワインの開発など、更には、中核市への移行やこつふ開府500年を新たな契機として、「選ばれる都市」への更なる成長と発展に向けた取組を推進してきたところであり、今後も、自主財源の確保策に加え、財源の効率的・効果的な活用に努め、地方自治体 が直面する様々な行政課題の克服に積極的に取り組んでいくとの答弁がありました。

これに対し、引き続き健全な財政運営に努めるよう求める意見がありました。

は、個人・法人市民税の増収や、有効求人倍率の高水準での推移など、市民生活は、雇用・所得環境が改善され、上向いているものとみられるが、人口減少・少子高齢化や社会保障費の増大が今後も見込まれ、安定的な行政サービスの提供への影響が懸念されることから、今後においても、市民満足度の向上に資する施策を展開するとともに、より一層効率的で効果的な業務の遂行による、持続可能な行政運営に努めていくとの答弁がありました。

これに対し、引き続き住みやすい、住んでよかったまちづくりを進め、「選ばれる都市」となるよう求める意見がありました。

用語解説①

「子育て世代包括支援センター」とは

妊娠期から子育て期の様々なニーズに対して、マイ保健師やコーディネーターなどが、一人ひとりに寄り添いながら切れ目のない支援を行っています。

◆市民生活及び市民満足度の推移について

第六次甲府市総合計画に位置づけられた37の施策及び4つの方針に関する市民実感度の平均の結果では、施策に対する評価が年々上昇し、中でも、子ども・子育てへの支援、学校教育の充実などは一定の評価をいただいたものと考えており、また、本市の経済状況

◆第六次甲府市総合計画の第2次実施計画を踏まえた平成29年度決算の総括について

市政運営に当たっては、第六次甲府市総合計画の基本目標に基づき、子育て世代包括支援センターの開設や少人数学習の実施など、安心して子どもを生み育てられる環境の充実を図り、児童・生徒の健全な育成と学力向上に努めたこと、また、甲府市産業支援サイトの構築や甲府市おもてなしショップ登録制度（用語解説②参照）の創設など、「稼ぐ・稼げるまち甲府」の実現に向けた諸施策を展開したこと、更に全自治会を対象とした地区防災研修会の実施や健康都市こつふ基本構想の策定など、災害等に対する不安をなくし、誰もが住み慣れた地域で健やかに暮らすことができるための諸施策を推進したこと、そして、甲府市ごみ分別アップ

用語解説②

「甲府市おもてなしショップ」とは

外国人旅行者を積極的に受け入れる外国人旅行者に対するサービスと連携して提供される飲食店のことです。

リの導入や甲府市都市計画マスタープランの策定など、清潔で快適な生活環境や機能的な都市基盤を整備することに努めてきたとの答弁がありました。

これに対し、今後も、一層の市民福祉の向上につながる市政運営の推進を求める意見がありました。

◆市民の暮らし向きへの認識について

各種相談の状況をみると、生活保護に関する相談件数は減少傾向であり、市民税等の納付相談や生活困窮者の新規相談受付件数などは横ばいで推移していることから、市民の暮らし向きが厳しさを増している状況にあるとは、必ずしも言えるものではないが、これまでも、市民の声を原点としながら、生活再建に向けた生活困窮者支援員等の活用や、経営者・後継者育成セミナーの開催及び創業支援資金の新設などを行ってきたところであり、引き続き寄せられた声をしっかりと受け止める中で、市民の暮らしはもとより、中小企業や創業者を支援する施策に反映させ、市民生活の向上に資する取組を着実に進めていくとの答弁がありました。

これに対し、市民生活の厳しい状況が続いているという認識を持ち、市民

平成29年度決算審査

の切実な要求や願いにこれまで以上に
応え、暮らしを守るよう求める意見が
ありました。

◆一般会計

○歳入について

新たな自主財源の確保へ向けた取組
についていただいたのに対し、ネーミン
グライツの導入に向け、他都市の状況
等を調査・研究し、対象施設、募集方
法及び選定方法についての基本方針を
策定したとの答弁がありました。

これに対し、今後も自主財源の確保
に努めるよう求める意見がありました。
このほか、主要要望・意見は次のと
おりです。

- ・市税等の徴収に当たっては、引き続
き丁寧な対応に努めること。

○総務費について

マイナンバーカードの普及について
いただいたのに対し、普及率は全国平均
より低い状況ではあるが、マイナンバー
カードを活用した各種証明書のコンビ
ニ交付を開始したことにより発行枚数
が増えてきているとの答弁がありまし
た。

これに対し、マイナンバーカードの
独自利用について更に検討するととも
に、利便性と安全性を強くPRすること
とで普及率の向上に努めるよう求める
意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のと
おりです。

- ・交通安全対策については、地域との
連携を一層図るとともに、カープミ

ラーの早期設置など交通安全施設の
整備を進めること。

○民生費について

放課後児童クラブについていただいた
のに対し、利用希望者が増加傾向にあ
るため、民間委託の放課後児童クラブ
を活用する中で、受入体制の充実に向
け取り組んできたとの答弁がありまし
た。

これに対し、引き続き安全・安心な
放課後の子どもの居場所づくりに努め
るよう求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のと
おりです。

- ・生活保護受給世帯の自立支援を一層
促進すること。

○土木費について

和戸町竜王線整備事業についてた
だしたのに対し、災害に強く美しいまち
づくりに資するよう、電線共同溝の設
置や歩道のバリアフリー化を行い、整
備を進めているとの答弁がありました。

これに対し、市内の東西を結ぶ重要
な道路であるため、できる限り早期開
通を目指すよう求める意見がありまし
た。

このほか、主要要望・意見は次のと
おりです。

- ・区画線標示の補修については、危険
箇所を優先的に対応すること。

○教育費について

少人数学習の実施による効果につい
ていただいたのに対し、児童・保護者の
アンケート結果では肯定的な評価が多

く、一定の効果が確認されているが、
平成29年度・平成30年度の2年間の取
組であるため、効果等を十分検証して
いくとの答弁がありました。

これに対し、引き続き調査・研究を
進め、学力の向上につなげるよう求め
る意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のと
おりです。

- ・市民体育大会の開催に当たっては、
多世代交流が可能となる仕組みを検
討すること。

◆特別会計

○国民健康保険事業特別会計

高額療養費制度の改正により、高額
所得世帯とは言えない世帯の負担が増
えたことから反対であるとの意見があ
りました。

このほか、主要要望・意見は次のと
おりです。

- ・医療費軽減策として、ジェネリック
医薬品の利用を促進するよう、引き
続き努めること。

○介護保険事業特別会計

高額介護サービス費の自己負担上限
額が引き上げられたことにより、高額
所得者とは言えない被保険者の負担が
増えたことから反対であるとの意見が
ありました。

このほか、主要要望・意見は次のと
おりです。

- ・居宅介護福祉用具購入費等の受領委
任払いについては、今後も更なる周
知と制度の維持に努めること。

◆企業会計

○病院事業会計

資金不足比率改善に向けた取組につ
いていただいたのに対し、欠損金累計額
を縮減させることが重要であることか
ら、単年度での黒字化を図る中、患者
数の増及び診療単価の向上への取組に
より、医療収支の改善に努めていると
の答弁がありました。

このほか、主要要望・意見は次のと
おりです。

- ・研修会や説明会を開催し、病院職員
の医療安全に対する意識向上や、経
営参画意識の醸成に引き続き努める
こと。

○水道事業会計

水道管の耐震化についていただいたの
に対し、平成29年度末の耐震化率は
13・3％であり、引き続き計画的に耐震
化を進めていくとの答弁がありました。

採決の結果、いずれも当局原案のと
おり認定、可決及び認定するものと決
しました。



常任委員会審査の概要

予算や条例など付託案件を審査した経過等の概要です。

常任委員長
報告要旨

民生文教委員会

◆議案第58号 専決処分について(平成30年度甲府市一般会計補正予算(第2号))中当委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しましたが、学校等の施設については、引き続き安全管理に努めるとともに、点検する際のマニュアル整備を求める意見がありました。

◆議案第62号 甲府市武田氏館跡歴史館条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、武田氏にまつわる歴史遺産を幅広く展示しPRすることで、交流人口の増加につなげるよう求める意見と、施設の整備に当たっては、障がい者に十分な配慮をするのと同時に、周辺との一体的な整備に努めるよう求める意見がありました。

◆議案第67号 工事請負契約の変更契約の締結について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、工事に当たっては安全対策に万全を期すよう求める意見がありました。

◆議案第60号 平成30年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 他3案

4案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆請願第30-3号 教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

子どもたちの豊かな学びを実現するために教育環境の改善は必要であることから、願意妥当であり採択すべきであるとの意見があり、全員異議なく採択するものと決しました。

総務委員会

◆議案第58号 専決処分について(平成30年度甲府市一般会計補正予算(第2号))中当委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しました。

◆議案第75号 市政功労表彰の決定について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第76号 公平委員会委員の選任について

全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。

経済建設委員会

◆議案第63号 甲府市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、地域振興、雇用及び人口減少対策にも大いに有効であることから、本制度の周知を図り、企業誘致等に努めていくよう求める意見がありました。

◆議案第58号 専決処分について(平成30年度甲府市一般会計補正予算(第2号))中当委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しました。

◆議案第64号 甲府市建築基準法施行条例の一部を改正する条例制定について 他3案

4案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

環境水道委員会

◆議案第65号 甲府市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。



平成30年9月定例会審議結果

	件名等	議決月日	結 果	政 友 ク ラ ブ	創 政 こ う ふ	公明党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	無所属
議案第58号	専決処分について(平成30年度甲府市一般会計補正予算(第2号))	9月13日	承認	○	○	○	○	○	○
議案第59号	平成30年度甲府市一般会計補正予算(第3号)	//	可決	○	○	○	○	○	○
議案第60号	平成30年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第61号	平成30年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第62号	甲府市武田氏館跡歴史館条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第63号	甲府市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第64号	甲府市建築基準法施行条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第65号	甲府市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第66号	財産の取得について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第67号	工事請負契約の変更契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第68号	工事請負契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第69号	工事請負契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第70号	平成29年度甲府市各会計別決算の認定について	9月27日	認定	○	○	○	×	×	○
議案第71号	平成29年度甲府市地方卸売市場事業会計決算の認定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第72号	平成29年度甲府市病院事業会計決算の認定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第73号	平成29年度甲府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	可決及び認定	○	○	○	○	○	○
議案第74号	平成29年度甲府市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第75号	市政功労表彰の決定について	9月13日	可決	○	○	○	○	○	○
議案第76号	公平委員会委員の選任について	//	同意	○	○	○	○	○	○
甲議第5号	教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書提出について	//	可決	○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対

政友クラブ ◎荻原隆宏 池谷陸雄 原田洋二 大塚義久
 廣瀬集一 鈴木 篤 岡 政吉 坂本信康
 長沼達彦 小澤 浩 末木咲子 深沢健吾
 藤原伸一郎 鮫田光一

創政こうふ ◎桜井正富 金丸三郎 清水 仁 山中和男
 天野 一 小沢宏至 望月大輔 向山憲稔

公 明 党 ◎兵道顕司 中村明彦 植田年美 佐野弘仁
 長沢達也
 日本共産党 ◎内藤司朗 清水英知 木内直子
 社会民主党 山田 厚
 無 所 属 神山玄太

◎は会派代表者

◎市政功労表彰の決定

本市の発展に尽力され功績が顕著であることから、次の方々をそれぞれ市政功労表彰者として決定する議案が提出され、全員異議なく可決されました。

谷川 義孝(地方自治と地方議会の発展、住民福祉の向上)
 望月 政男(産業振興や地方自治の進展)
 佐藤 健(福祉の向上)

◎人事案件については、次のとおり同意されました。

◆公平委員会委員の選任について 依田 道徳

(敬称略)

教職員定数改善、少人数学級推進 及び義務教育費国庫負担制度拡充 を求める意見書

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で子どもたちの豊かな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠であり、教職員定数改善などの施策が最重要課題である。

また、我が国は、OECD諸国に比べて一学級当たりの児童・生徒数や教員一人当たりの児童・生徒数が多い状況にあり、一人ひとりの子どもにより丁寧な指導・支援を行うためには、一クラスの学級規模を引き下げることが必要である。

本市では「豊かな感性とたくましい行動力を持ち、互いのよさを認め合いながら、進んで自己の課題に取り組むことのできる、心身共に健康な児童生徒の育成」を目標に、学校教育の一層の充実を図る施策を積極的に展開している。

義務教育費国庫負担制度については、三位一体改革の中で国庫負担割合が2分の1から3分の1に

引き下げられ、厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置を行っている自治体もあるが、地方自治体財政を圧迫していることや自治体間の教育格差が生じることや大きな問題である。

国の施策として定数改善に向けた財源を保障し、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、豊かな子どもの学びを実現するための条件整備は不可欠である。

以上のことから、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 計画的な教職員定数改善を推進するとともに、少人数学級の推進を図ること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に還元すること。
- 3 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

○提出先

衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 財務大臣
総務大臣 文部科学大臣

甲府市議会のご案内

～甲府市議会の活動についてお知らせしています～

甲府市議会ホームページ

URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>
議員名簿、議会の日程、審議結果、本会議等の会議録、議長交際費、政務活動費、甲府市議会だよりなどを発信しています。

<モバイル>



インターネット中継&テレビ中継

甲府市議会のホームページから本会議の様子を生中継や録画中継で見ることができます。また、本会議を、NNS（10ch）で生中継しています。



甲府市議会 Facebook

調査研究会の様子や本会議の質問議員など甲府市議会の情報を発信しています。



<フェイスブック>



甲府市議会だより

自治会などを通じて配布するほか、甲府市役所本庁舎、各窓口センターなどに置いてあります。2月、5月、8月、11月に発行します。



<モバイル>



<フェイスブック>